

教師ノート

日付	2012年 2月19日
単元	士師記・ルツ記
テーマ	誘惑 神の力
タイトル	サムソンの力
テキスト	士師記13:1-16:31
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	箴言1:10 or マタイ26:41
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	小学下級3巻-主題3-課8 小学上級1巻-主題2-課10 中学3巻-主題4-課11
□導入	<p>今日は、イスラエルの人たちがまたもや、自分たちが作った神々を拝む罪を犯した。そんな時代のお話です。神様は、イスラエルをペリシテ人が征服するにまかせたので、四十年間もその支配下に置かれることになりました。</p>
□ポイント1 サムソンはイスラエルを救う者として誕生しました	<p>ある日のこと、天の使いが、一人のイスラエルの女の(マノアの妻)の所に不思議な知らせを持って来ました。天の使いは、「あなたは男の子を産みます。いいですか、ぶどう酒や強い酒を飲んではいけません。また生まれて来る子の髪を切ってはなりません。その子は、神様に仕える人として、生まれた時から特別に選ばれています。やがてその子は、イスラエルをペリシテ人から救い出すことになります。」と言いました。</p> <p>間もなく、約束どおりに男の赤ちゃんが生まれました。名前はサムソンとつけられました。サムソンは、神様に祝福されて、すくすくと育ちました。大人になった時には、神様が強くして下さいだったので、イスラエルの国中で一番強い人になりました。</p> <p>ある時、サムソンが歩いていると一頭の若いライオンに出会いました。そのライオンはサムソンに襲いかかりました。その瞬間でした、激しい力が神の霊によってサムソンに注がれたのでした。サムソンは武器を持っていませんでしたが、素手でライオンのあごをつかむと、真っ二つに引き裂いてしまいました。まるで子やぎを引き裂くようにです。サムソンにとっては簡単なことでした。</p> <p>またサムソンは、大勢の兵隊に捕まえられたことがありました。太くて強いなわで縛られて捕らえられてしまったのでした。そんなサムソンに神様の力が注がれました。その時です。太くて強いなわは、まるで糸のようにぷつぷつ切れ、手首から落ちてしまいました。すかさずサムソンは、そこに転がっていたろばのあご骨を拾い上げ、あっという間に、千人のペリシテ人をなぎ倒してしまいました。</p>
□ポイント2 サムソンはデリラの誘惑に負けてしまいました	<p>サムソンの強さの秘密は、生まれる時に言われた神様の命令を守っていたからです。それは、髪の毛を切らない、ということでした。このサムソンの秘密を知っている人はだれもいません。</p> <p>サムソンは、デリラというペリシテ人の女の(人)を好きになりました。このデリラをペリシテ人の領主が直接訪ね、「サムソンの力の秘密を探って欲しい。この仕事を引き受けてくれたら、お金を差上げます。」とお願いをしました。デリラはこのことを引き受けました。</p> <p>間もなくして、デリラはサムソンに会った時に、力の秘密を打ち明けて欲しいとお願いしました。するとサムソンは自分の力の秘密を教えてくださいました。デリラは喜びました。</p>

しかしその教えてもらった力の秘密はウソであることがわかりました。するとデリラは、またサムソンにお願いをして力の秘密を聞き出しました。

しかしその教えてもらった力の秘密はウソであることがわかりました。デリラは「なぜ私をだますのですか？私を好きならば本当のことを教えて下さい。」と言いました。

そして何度も何度もしつこくサムソンに秘密を教えてくださいたいとお願ひしました。サムソンはついに秘密を打ち明けました。「実は、おれは髪の毛を切ったことがないんだ。もし髪の毛を切ってしまったら、おれのカもおしまいだよ。」

デリラはさっそく、ペリシテ人の領主にこの秘密を伝えました。デリラはサムソンを眠らせると、髪を切ってしまうました。そしてペリシテ人の兵隊を呼びました。

サムソンは目を覚まし、兵隊と戦う準備をしました。彼は神様の力が自分から無くなっていることに、気づいていませんでした。あっという間にペリシテ人にやられてしまいました。サムソンは捕まえられてしまいました。そして目を取られて、青銅の足かせをはめて牢屋に入れられてしまいました。しかしその間にも、サムソンの髪は少しずつ伸びていました。

□ポイント3 サムソンは神の力を頂いて敵を倒しました

ある日、大勢のペリシテ人が、サムソンの逮捕を祝うお祭りをしました。人々は彼らの神にいけにえをささげ、熱狂的に賛美しました。

そして酔いが回ったころです。「サムソンを連れ出せ！見せ物にして楽しもうじゃないか」という声があがったのです。サムソンは牢屋から連れ出され、神殿の中央の大屋根を支える二本の柱の間に立たされました。人々はサムソンをバカにしてからかいました。

サムソンはそれを聞いて、前に自分が強かったことを思い出しました。そして「神様、どうかもう一度、私のことを思い出して下さい。いま一度、私に力をお与え下さい。」とお祈りをしました。

サムソンは、全力を振り絞って自分が寄りかかっていた大きな柱を押しました。神様は祈りを聞いて下さり力を与えられました。彼は、「ペリシテ人もろとも死なせて下さい」と叫びました。

すると大きな柱は倒れ、その場にいたペリシテ人全員の上に建物がくずれ落ちたのです。

ペリシテ人はその下敷きになって、みんな死んでしまいました。サムソンも死にましたが、天の使いが言ったように、ペリシテからイスラエルを助け出したのです。

□結論 サムソンはイスラエルを敵から救いました

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. サムソンは神様を信じないペリシテ人の女の人と仲良くなり、誘惑され神様の力を奪われてしまいました。私たちも誘惑に負けてしまわないように、いつも神様から力を頂きましょう。
2. 昔は特別な目的のために特別な人に聖霊が注がれましたが、今はすべての人に注がれています。求める者には聖霊が与えられ満たされます。神様は私たちがいつも聖霊で満たされることを願っています。聖霊の満たしを祈りましょう。